



D/A Converters

D/Aコンバーター

ADL Esprit

¥71,400



A/Dコンバーターを内蔵、
プリアンプとしても使える
多機能モデル



●対応サンプリング周波数/ビットレート: 192kHz/24bit (最大) ●入力端子: デジタル×3 (USB, RCA, 光), アナログ×2 (RCA) ●出力端子: デジタル×1 (光) アナログ×1 (RCA), ヘッドフォン×1 ●外形寸法: 150W×57H×141Dmm ●重量: 970g

Mac な視点

コンパクトなボディだが、面白い機能をもうひとつ備えている。それはD/Aならぬその逆のA/D変換ができることだ。つまり、レコードやカセットテープのアナログ信号を、デジタルデータにすることが可能なのである。今回は試してはいるが、過去の財産をデジタルアーカイブ化するのに、便利な機能である。アナログレコードの音源をデジタル変換し、iTunesで管理、iPodで持ち歩く、なんていかがだろうか。

オーディオファンなら、フルテックという社名はどこかで必ず聞いたことがあるはずだ。そう、高品位なケーブルやアクセサリをワールドワイドで送り出している企業だ。そんな同社から別ブランドとして立ち上がったのが、ADLアルファ・デザイン・ラボで、主としてコストパフォーマンスの高いプロダクトを開発・展開している。

本機は96kHz/24bitまで対応したD/Aコンバーターとしての機能が、まず挙げられる。そのサウンドは、どんなジャンルでもつなくこなす、優等生的なものだ。エスペランサの『ラジオ・ミュージック・ソサイエティ』(96kHz/24bit flac)では、彼女が奏

でるベースに厚み加わるが、それが野暮ったくなることはない。他のシステムでは、ベースがやや大きめに聞こえることが多いが、ここではほどよく抑えられている。その反面、低域の躍動感は後退する。音楽の迫力よりも、調和を目指す方向にあるようだ。ロックとアフロリズムの融合を図ったトーキングヘッズの『リメイン・イン・ライト』(96kHz/24bit flac)。ここでもエスペランサ同様、ヴォーカルやギター、ドラムスがきちんと整頓されてしまうようだ。弾けるようなスピード感や、前後左右に音が散らばってゆく雰囲気はここにはあまりない。一方で伊藤ゴローの『グラスハウス』(96kHz

/24bit wav)のようなアコースティックサウンドは、とろけるようなマイルドなトーンで、十分に楽しめる。

また、このモデルはヘッドフォンプリアンプとしても活用できる。穏やかでソフトな音調は先ほどと変わらない。もう少し音場に広がりを持たせたいなら、ヘッドフォンをオープンタイプにするとうまいだろう。ラインアウトからアンプにつなぎスピーカーで聴くにせよ、ヘッドフォンで聴くにせよ、音楽をゆったりと落ちついて聴きたいという趣向とマッチする。(中林)